

広報

かわごえ環境ネット

2024年1・2月号 No.195

2024年2月24日(土)、ウエスタ川越において「第22回かわごえ環境フォーラム」が開催されます。2003年から始まったこの行事では、午後に講演会やワークショップを開催してきました。2023年の第21回では4年ぶりに対面でのワークショップ「若者×環境＝暮らしに根ざした未来」を開催し、子どもや学生も参加して、2035年にどんな未来になってほしいかを話し合っただアイデアをまとめました。今年も「持続可能な社会の川越STYLE」をテーマに、参加者全員のアイデアを紡ぎます。ぜひご参加ください(詳細5ページ)。(小瀬博之)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 2: **【報告】** かすみがせきた環境対話カフェ(第4回、10月22日)
伊佐沼キタミソウ観覧会(11月5日) / 川越市環境計画見直し意見交換会
- 3: **【報告】** 2023森フェス in 川越(11月18日)
- 4: **【コラム】** かわごえ環境STYLE(9) 川越 Farmer's Market 発足10周年を迎えて:
自然を訪ねて(13) チョウから見る川越の環境
- 5: **【募集】** 第22回かわごえ環境フォーラム(2月24日開催、報告集原稿は1月15日締切)
映画上映会「蘇れ生命の力~小児科医 真弓定夫~」(2月3日開催)
- 6: かわごえ環境ネットからのお知らせ
- 7: 会員からのお知らせ
- 8: イベントカレンダー(2024年1月1日~2月29日)
ボタニカルアート(5) ヤマジャクヤク

残したい川越の風景(13) かわごえ環境フォーラム「ワークショップ」(2023年2月25日撮影)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【報告】かすみがせききた環境対話カフェ（第4回、10月22日）

開催趣旨

10月22日（日）に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネット共催の第4回「かすみがせききた環境対話カフェ」を実施しました。地域環境対話活動とする本イベントは全4回で構成されており、今回は「伝えてみよう！気候変動アクション」の回でした。

1回目は気候変動について学ぶ「聞いてみよう！」の回、2回目は自分たちの地域を実際に“環境”の視点で見ていく「歩いてみよう！」の回、3回目は“環境”についてできることをグループで対話していく「考えてみよう！」の回でした。

第4回は1～3回までの振り返りと、霞ヶ関北自治会環境部の方から今後、実際にできる取組を参加者、そして自治会長さんへ発表されました。参加者は5名、見学者は7名でした。

第4回実施結果

今回は最終回となるため、全体の振

り返りを、参加者とともにスライドを見たり、その時の写真を並べたりしながら行いました。その都度、どんなことを感じたのか、行動の変化があったかを対話していきました。「その後、ごみの出し方に変化があった」「この地区をもっと元気にしたい」など、参加者の方から積極的に発言がありました。

霞ヶ関北環境部の方からは、「地域お助け隊を作る」「公式LINEを作成、活用する」「環境に関する勉強会の実施」と具体的な発表が、自治会会員である参加者、そして自治会長さんの前で行われました。

今後の予定

この対話をもとに、霞ヶ関北自治会では今後、具体的な活動が実施される予定です。来年度以降の活動を楽しみにするとともに、その活動を全面的にサポートしていきます。

（小川夕子）



これまでの環境対話カフェのふりかえり



今後の活動の提案発表

【報告】伊佐沼キタミソウ観察会（11月5日）

2018年に発見された伊佐沼のキタミソウ

今年は、かわごえ環境ネットとの共催の3年目になります。一昨年39名、昨年42名を下回る21名の参加でしたが、東京新聞のイベント欄を見られて、新しいグループで狭山市の植物グループ5名の参加があり、徐々に「伊佐沼キタミソウ」の認知度が高まっていることを実感しています。キタミソウ以外にもあまり観られないホソバノセンダングサを紹介して喜んでいただきました。

キタミソウ群生地の観察

今年も2グループに分かれて、3か所のキタミソウ群生地を案内いたしました。「九十川出口」「1haの蓮とキタミソウの共存共栄エリア」「北階段下のキタミソウサンクチュアリ」を回り、キタミソウを満喫していただきました。

今年も伊佐沼の古代蓮（大賀蓮）が、昨年に続き不作で遂にほぼ全滅になってしまい、キタミソウが出てくる10月まで心配していました。でも、例年並みにキタミソウが生育し、開花したことで、まずは一安心しました。今後の保護活動に力を注ぐパワーをいただきました。

（埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部 福原時夫）



北階段下のキタミソウサンクチュアリ



北階段での観察会終了時のあいさつ

【報告】川越市環境計画見直し意見交換会

2023年7月から毎月6回開催

2023年7月26日から毎月下旬に1回のペースで開催している「川越市環境計画見直し意見交換会」。これまで本会会員を中心に19名と事務局の参加がありました。これまで主に、令和7（2025）年度に目標年度を迎える「川越市環境基本計画」の見直しを検討してきました。

現行計画の骨格をベースとしながらも、「望ましい環境像」を「豊かな自然を未来につなぐまち」へ変更することや、「環境目標」を5つから3つに整理すること、施策体系を11施策から9施策に整理することなど、話し合いながら参加者の合意形成を図っています。

そして現在、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」の実行、地球温暖化緩和策のさらなる推進、森林、農地、水辺等自然地の担保、生物多様性の保全・回復の推進、農業振興などを盛り込んだ次期環境基本計画策定に向けた提言をまとめようとしています。

詳細な経緯はかわごえ環境ネットWiki (<https://wiki.kawagoekankyo.net>) でご覧いただけます。また、どなたでもぜひ会合にご参加ください。（小瀬博之）

【報告】2023 森フェス in 川越 (11月18日)

全体概要

川越の南部、福原地区に「(仮称)川越市森林公園」計画地があり、江戸時代からの平地林や農地が広がっています。その森の魅力を市民の方に知っていただくために、昨年に続き今年も11月18日(土)に実施しました。

参加者は昨年より少な目でしたが(スタッフ含め総勢60余名)、その分じっくりと体験できたようです。

メイン会場となる林地は前もって地主さんから借り受け、布芝居の読み聞かせ、プロのバイオリン演奏などを展開しました。また、森のギャラリーとしてボタニカルアート(写真1)、野鳥の写真などを飾りました。その他のアクティビティは別の林地で展開しました。

アクティビティ

「布芝居の読み聞かせ」(写真2)は、メイン会場で最初に参加者全員で「がんばれ大ちゃん」を鑑賞しました。福原小学校図書ボランティア有志の方々が作ったものです。

「ぶんぶんゴマ」(写真3)は、まず丸太を輪切りにします。それにインパクト

ドライバーで穴を2つ空けますが、重心をとらないとうまく回りません。そこらへんがコツです。糸を通して回します。みんなよく回りました。

「ドングリトトロ」(写真4)は、素朴で個性ある作品になり、思わずホッコリします。小さなお子さんが多かったのでスタッフも汗だくです。

「落ち葉のステンドグラス」(写真5、6)は、ネイチャーゲームの一種で、この季節の紅葉した落ち葉を黒い紙に挟むと、まるで本当のステンドグラスです。

以上の3つのブースは自然環境部会が担当しました。

「年輪パズル」(写真7)は、川越緑

のサポーターが担当しました。こちらも小さなお子さんが丸太をノコでひくので気を使います。丸太を金づちで割ると「世界で一つだけ」のパズルができます。

バイオリンと歌

今年もバイオリニストの長又允希さんに来ていただきました(写真8)。森で聞くバイオリンの音色はとても素敵です。「タイスの瞑想曲」の時は、小さなお子さんはうっとりとして眠ってしまいそうでした。バイオリンに合わせておなじみの歌を参加者で歌い、昼過ぎに散会しました。

(賀登環)



写真1 ボタニカルアート



写真2 布芝居の読み聞かせ



写真3 ぶんぶんゴマ



写真4 ドングリトトロ



写真5 落ち葉のステンドグラス



写真6 落ち葉のステンドグラス



写真7 年輪パズル



写真8 バイオリン演奏

かわごえ環境ネット会員募集

個人会員、団体会員を随時募集。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円。1月から3月に入会した場合、3月までの会費は免除。この機会にぜひご

入会ください。

会員特典 ①本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・E-mailでお届け、②本紙及び本会インターネットへの記事掲載、チラシ同封、③本会主催の事業への優先参加、④総会、専門

委員会活動への参加

詳細 かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)に問い合わせるかWebサイト(<https://kawagoekankyo.net>)をご覧ください。



入会案内

はじめに

私が代表を務める「川越 Farmer's Market」を立ち上げてから 2024 年でちょうど 10 周年を迎えます。当初は任意団体として活動していましたが、今は一般社団法人化し、各所と連携することが多くなり、さまざまな広がりの中で展開しています。直近では 2023 年 12 月 3 日にウェスタ川越・ウニクス川越で開催した「くらしをいろいろ Farmer'sMarket」には、川越の農家、飲食店、お菓子店、雑貨店、作家・職人 100 店が集まり、18,000 人の来場者がありました。

自らの生い立ち

この活動をなぜ起こそうとしたのか、改めてになりますが節目に振り返りたいと思います。それはもともと、当時の川越の状況と自分が考える社会環境のギャップが大きい問題意識からでした。私自身は川越市の郊外出身で、川越のさつま芋畑を目の前にして育ちました（さつま芋畑が遊び場で農家の手伝いもしていました）。近所・同級生には農家の家も多く、日常生活の中に農

家・農業が当たり前の風景としてなじんでいました。

中心市街地と郊外の意識ギャップ

大人になって川越の中心市街地の人たちとつながるようになると、街中の人たちの意識に驚きました。中心市街地を離れると、市の東西南北、農業地域がぐるりと取り囲んでいるにも関わらず、「農業のことが全く知られていない」。今となっては隔世の感がありますが、当時は川越の農業が市民にあまり知られていなかったのです。

行動を起こす！

「川越でお米が作られていることも知られていない、地元の農業のことを知らない人がこんなにもいるのか。市民の意識のギャップを埋めたい、川越の農業の魅力を知ってもらいたい」という問題意識が強くなり、何か起こさなければならないと考えて動いた最初の最初が、2014 年川越のライブハウスを貸し切って農家のお話を聞き、農家の農産物を使った飲食を提供

しながら音楽を聴くというイベントでした。室内イベントで 30 人ほどが集まり、盛況だったことから手応えを感じて、翌年 2015 年から屋外イベントで大々的に開催を始めました。

ここから先は目の前のことに取り組んでいるうちに 10 年経っていたという実感ですが、毎年さまざまな取組を経て今に至ります。川越市民の意識も変わり、川越の飲食店が川越産農産物を使用することが当然のようになりました。30 人のイベントが 18,000 人になり、時代が大きく変わったと実感しています。これで歩みを止めるかということ、いえ、まだスタートラインに立ったばかり。これからも永続的に活動を進めていきます。（石川真）



2023 年 12 月 3 日に開催した「くらしをいろいろ Farmer'sMarket」



川越の農家のイベント出店

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (13) チョウから見る川越の環境

はじめに

花から花へと華麗に羽ばたき人を魅了するチョウは「はかない存在」と考えられています。ドッコイ、チョウは卵、幼虫、さなぎそしてチョウへと完全変態をとげて大空に飛び出します。それも食草があり、生息に適する環境があれば毎年その光景を見ることができます。そんなチョウにあこがれて 12 年間、30 数名の市民とともにチョウの生息調査を行ってきました。自宅の庭から、公園に足を運び、慣れ親しんだ樹林地で、初春から晩秋まで、カメラや捕虫網を持ちチョウの手引きを手にして。

川越市内に現在 62 種のチョウが存在

その結果が 6,500 件を超えるデータとなり、これを解析することで、チョウの生態や 12 年間の変化を知ることができました。現在、川越市内には 62 種のチョウの

存在を示すことができました。チョウの歴史から、50 年以上前には 78 種のチョウが住んでいました。この間に川越から消滅したチョウは 23 種（未確認も含めて）、新たに出現したのは 7 種です。原因は温暖化もありますが、チョウの生息する環境も変化したことが考えられます。

特に、雑木林に依存するゼフィルス（アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ）や、雑木林のエノキを食草とするゴマダラチョウとヒオドシチョウも市内数か所になっています。河川周辺の環境が必要なギンイチモンジセセリやジャコウアゲハも同様に限定されており、コムラサキはヤナギが伐ら

れると姿を消しました。これらのチョウは絶滅が心配されるチョウになっており、自然環境の保全などを含めた対策が求められています。

次世代の環境保全に役立つ記録に

自然を観察することは、人生にとって楽しくも素敵なことです。この活動は自己満足でなく、未来の環境保全に役立つ社会貢献と思えます。チョウの歴史を調べていましたら、過去のチョウについて記憶は残っていても、記録は残されていないことは残念です。市民が取組んだこの結果を次世代の環境保全に役立つ記録となること願わずにはられません。 過昌司（福原水と緑の会）



2016 年 10 月 安比奈親水公園



2018 年 10 月 安比奈親水公園



2023 年 7 月 入間川右岸大東地区

【参加者 / 投稿・発表者募集】第22回かわごえ環境フォーラム(2月24日開催、投稿1月15日締切)

実施概要

日時：2月24日(土) 9:30-16:30
 場所：ウスタ川越市民活動・生涯学習施設(2階) 活動室1・2(川越市新宿町1-17-17、川越駅西口より徒歩5分)、
 主催：かわごえ環境ネット、後援：川越市、協賛：パイオニア株式会社川越事業所 武州ガス株式会社 株式会社環境総合研究所 初雁興業株式会社
 ＊川越市エコチャレンジイベント認定
プログラム
 9:15- 午前の部 受付

9:30-12:00 午前の部
 「かわごえ環境活動報告会」

9:30-9:45 開会
 9:45-12:00 環境活動報告会
 「かわごえ環境活動報告集」に投稿いただいた方とかわごえ環境ネット専門委員会による10件程度の活動報告
 12:00-12:45 閉会・休憩
 12:45- 午後の部 受付

13:00-16:30 午後の部 ワークショップ
 テーマ「持続可能な社会の川越STYLE」

13:00-13:15 開会
 13:15-14:00 「かすみがせき環境対話カフェ」「川越市環境計画見直し意見交換会」活動報告
 14:00-14:20 休憩・話し合い準備
 14:20-15:50 グループワーク「持続可能な社会の川越STYLE」を考えよう
 15:50-16:00 休憩
 16:00-16:30 総括・閉会

プログラムの詳細

プログラムの詳細や参加方法は、かわごえ環境フォーラムホームページ(<https://forum.kawagoekankyo.net>)で1月末日までに公開予定です。

参加申込・問い合わせ

かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課環境推進担当) Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail:

kankyoseisaku@city.kawagoelg.jp
 ＊内容は予定であり、今後変更の可能性があります。

「かわごえ環境活動報告集」投稿・発表者募集(1月15日まで原稿投稿)

スケジュール(①を延長しました)

①「投稿・発表申込書」提出期限と②レポート投稿(4ページ以内)最終期限：1月15日(月)

③ウスタ川越で発表：2月24日(土)

趣旨
 「第22回かわごえ環境フォーラム」の開催にあたって、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。個人・団体の年間の活動報告を「かわごえ環境活動報告集」に集積して情報共有を図ります。積極的な応募をお待ちしています。

詳細

会員の方は本紙に同封またはメールで別送された応募要項をご覧ください。かわごえ環境フォーラムホームページにも掲載されています(原稿フォーマットもホームページにあります)。会員外の方も投稿・発表歓迎です。



かわごえ環境フォーラム
 (<https://forum.kawagoekankyo.net>)

【参加者募集】「蘇れ生命の力 ～小児科医 真弓定夫～」映画上映会(2月3日開催)

開催概要

日時：2月3日(土) 受付13:30、上映14:00-16:00 予定
 場所：川越市高階公民館(川越市藤間

27-1、高階市民センター内)
 定員：先着120名(直接会場)
 参加費：無料
 問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局
開催趣旨

子どもの“こころとからだ”を健康に育てる秘訣が描かれた映画です。お気軽にご参加ください
 “自然流育児のすすめ”の著者でもある真弓先生の講演会は、川越市内でも何回も実施され、参加された若いお母さん方から「また、先生の講演を聞きたい」「親子でこのようなはなしを聞きたい」との声が寄せられていました。

毎日の中でどんなことに気を付けて子育てをしていけばいいのかを、半世紀にわたり子どもの“いのち”とじかに向き合ってきた真弓先生のドキュメンタリー映画を見ながらもう一度、生き

方・暮らし方・考え方を問い直してみませんか。

映画あらすじ

真弓小児科。小さな診療所に「名医」との評判を聞きつけた人々が全国から訪れる。院内にはクスリも注射もない。代わりに、時間をかけて生活習慣のアドバイスをする。「病気を治しているのは、医者ではない。自然治癒力だ。」失われつつある生命の力。真弓は問う。「忘れてはいないだろうか？私達は自然に生かされている、いち“動物”である」。真弓に出会って、生き方まで変わってしまったという親子も少なくない。現代社会の中に埋もれていく叡智を、生涯をかけて伝え続ける小児科医 真弓定夫、そして各界で同じように生命の力を信じ、歩き続ける人々を追いかけたドキュメンタリー。

報告

理事会・事業運営委員会

11月22日(水) 事業運営委員会・理事会

1 川越市環境基本計画年次報告書「かわごえの環境」への記事掲載依頼、2 歳末まち美化活動準備状況、3 次年度のクリーン活動の実施検討、4 第22回かわごえ環境フォーラムのワークショップ検討と協賛依頼、5 会費未納者への通知文の発送、6 「2023 森フェス in 川越」実施報告と反省

12月13日(水) 事業運営委員会・理事会

1 第22回かわごえ環境フォーラム「環境活動報告集」の申込状況確認、「ワークショップ」の実施方法検討、協賛応募状況の確認、2 歳末まち美化活動のスタッフ役割、参加者数等の確認・検討、3 次年度クリーン活動の実施予定日の決定(春と歳末の2回実施の方向)、4 次年度事業計画の検討依頼(3月に原案審議)、5 2月3日開催の映画上映会の準備状況確認、6 自然環境部会から冊子印刷費用等支出依頼(執行状況を精査して継続審議)(理事長 小瀬博之)

社会環境部会

11月10日(金) 13:30-14:30

オーク2H₂で例会を開催。参加者6名。

自然環境部会

11月例会は10日(金)オーク2H₂会議室にて7名参加、12月例会は8日(金)

報告・協議事項

1 第4回

かすみがせきた環境対話カフェの実施報告、2 松岡会員提案の映画上映会につ



10/21 古谷湿地さかな観察会



12/11 晩秋の森で保全活動

いての検討、3 今後の社会環境部会の例会運営について協議

12月8日(金) 13:30-14:30

川越市役所7E会議室で例会を開催。参加者5名。

協議事項

1 2月3日に開催する映画上映会の進め方を検討。案内用のちらしは事務局の協力を得て作成。高階公民館の上映資機材の事前チェックを1月中に有志で実施。当日のスタッフ等については次回の例会で決定。久しぶりの上映会のため、事業運営委員会等の協力を得て進める。2 12月24日に開催する「歳末まち美化活動」についての進め方を検討。

(社会環境部会代表 増田知久、菊地三生)

市役所7E会議室にて9名参加で開催

1. 活動報告

1 (仮称)川越市森林公園 計画地定例活動:10月23日(月)20名参加 森フェス会場草刈り、11月13日(月)17名参加、11月27日(月)11名参加 森フェス後片付けやセンブリ(絶滅危惧II類(VU))の確認、2 池辺公園定例活動:11月14日(火)8名参加 ハグロソウ(準絶滅危惧(NT))領域の手入れ、3 古谷湿地さかな観察会:10月21日(土)3家族参加 川越市主催 自然環境部会から2名協力、4 「伊佐沼キタミソウ観察会」:11月5日(日)9:00-12:00 本紙2ページ参照

2. 協議事項

市に協力している生き物調査について考察や分析など。次期環境基本計画見直しについて、意見交換。今年度実施したイベント、観察会などの振り返り。(自然環境部会代表 賀登環)

予告・募集

会合

◆**広報委員会** 1 1月10日(水)・2 2月7日(水) 9:00-9:30

●**社会環境部会** (第2金曜日) 3 1月12日・4 2月9日(金) 13:30-14:30

●**自然環境部会** (第2金曜日) 3 1月12日・4 2月9日(金) 14:30-16:00

◆**事業運営委員会** 5 1月24日・6 2月21日(水) 9:00-10:00

◆**理事会** 5 1月24日・6 2月21日(水) 10:00-11:30

★**川越市環境計画見直し意見交換会** 7 1月31日・8 2月28日(水) 9:30-11:30

会場: 1 2 オンライン(URLは委員に別途案内)、3 川越市役所7階7C会議

室(川越市元町1-3-1)、4 6 7 8 川越市役所地階修養室、5 川越市役所3階3A会議室、* 3 4 は会員が、7 8 はどなたでも参加できます。

自然環境部会の活動

★**A** 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日)1月8・22日、2月12・26日(月)9:30-12:30 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2) ★**B** 池辺公園定例活動(毎月第2火曜日)2月13日(火)9:30-12:00(1月9日は休止)場所:池辺公園(川越市池辺1302)

A Bの問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)

広報委員会

2024年3・4月号(No.196, 3月1日発行)投稿募集(会員対象)

提出期限:2月8日(木)

提出方法:原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

本会「ホームページ」「note」への投稿会員であれば随時対応します。koho@kawagoekankyo.netへご連絡を。

6-8ページの記号凡例

★:本会主催・後援等一般公開行事 ●:本会会員対象行事 ◆:本会理事・委員対象会合 ○:本会会員等主催のイベント等 ○:その他(個別記事参照)

NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

近況報告

11月12日(日)に久しぶりの収穫感謝祭を開催しました。羽釜炊きをはじめ、当会が管理する福田の田んぼでロケを行った10月29日放映の「相葉マナブ」から学んだマコモダケづくしのメニューの数々。調味料を除き農薬も化学肥料も使わない環境にやさしい田んぼや畑から収穫したほぼ自給率100%のぜいたくな収穫祭でした。



収穫感謝祭の様子

予告

1月20日(土) 9:30-14:00 ごろ、マコモ田んぼの野焼きを兼ねてどんどこ焼きとサツマイモを焼く予定です。おしるこも作ります。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

HP <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

福原ファームクラブ

横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

予告

◎**おいしく・楽しく農業体験** 場所：明見院(川越市今福677)近く、会費：一家族1,000円(年間)、**1** 1月13日(土) 9:30-12:30 ごろ 畑の片付け、収穫手伝い他、**2** 2月10日(土) 9:30-12:30 ごろ 内容未定

川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

11月8日(水)は特別に「2023 森フェス in 川越」でメイン会場となる民有地の手入れをしました。



11/8 森フェス会場の枯損木伐倒 11/8 林床の草刈り、安全な空間になった

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地

「**リョウブの森**」の手入れ 1月10日(水) 8:30-12:00 「リョウブの森」の手入れの続き。集合：川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていない公有地やそれにつながる民有地を、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した生態系保全の手入れを行っています。奇数月の第2水曜日が活動日です。

小畔川の自然を考える会

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

12月3日(日) 9:30-12:00 南小畔川上流にある飯能靖和病院南から、日高市の圏央道とぶつかるあたりまで踏査し、土手から川環境を調査しました。歩数は約1万歩、距離は約6km。途中、飯能市内のある工場から黒い廃液が流され延々と続いていました。すぐに飯能市に連絡し、現在、県の西部環境管理事務所が対応に当たっています。これで年内の活動は終了し、次は4月からです。

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

報告

11月4・5日(土・日)の大学祭「第14回こもれび祭」では「里山体験と木工教室」を実施し、2日間で延べ500名ほどの方にお越しいただきました。11月18日(土)の活動ではコナラ枯損木の伐倒と自然再生エリアの枝打ち、12月16日(土)の活動では運動部合宿所東側エリアの下刈りを主に行いました。



11/5 森のツアー

11/5 木工教室



11/18 大径木は一苦勞 12/16 学生が多数参加



12/16 下刈り前定点

12/16 下刈り後定点

予告

◎**里山林保全活動** **1** 1月20日・**2** 2月3日・**3** 3月2日(土) 8:30-16:00、場所：東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)、定員：15名(高校生以上、事前予約必要)、作業：枯損木の伐倒、林床の下刈り、伐採枝のチップ化など。詳細はこもれび隊ホームページにて。**こもれび隊 HP** <https://www.toyo.ac.jp/social/satoyama/>

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯
電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

予告

◎**伊佐沼でバードウォッチング**(毎月第2日曜日) 集合：10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止、持ち物：筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物、参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

1 1月14日(日) 10:10-12:00 毎年行うガンカモ調査の日です。長年続けることで、環境の変化を知ることができます。あなたも参加してください。

2 2月11日(日) 10:10-12:00 一番寒い時期ですが鳥は元気です。寒さに負けず観察しましょう。

個人会員からのお知らせ

福岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

予告

◎**かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」** 会場：高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース、参加費：無料。持ち物：裁縫道具、いらなくなった布類、衣類(ワイシャツ、セーターなど) 直近2~3か月の電気・ガス・水道使用量(料)のわかるもの。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。個々の取組が減災・防災につながります。

1 1月17日(水)・**2** 2月15日(木) 13:30-15:00 「裁縫タイム ~マイ箸袋作りと衣類のリメイク~」使わなくなった布、ワイシャツやセーターなどをリメイクします。

2024年1月

1月	元日
2火	
3水	
4木	
5金	
6土	
7日	
8月	成人の日
	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
9火	
10水	◎ 8:30 (仮称) 川越市森林公園計画地「リョウブの森」の手入れ ◆ 9:00 広報委員会
11木	
12金	● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
13土	◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
14日	◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
15月	○ かわごえ環境活動報告集「投稿・発表申込書」「レポート」投稿期限
16火	
17水	◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
18木	
19金	
20土	◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ◎ 9:30 かわごえ里山イニシアチブ「どんど焼き」など
21日	
22月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
23火	
24水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
25木	
26金	
27土	
28日	
29月	
30火	
31水	★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会

2024年2月

1木	
2金	
3土	◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ★ 14:00 「蘇れ生命の力～小児科医 真弓 定夫～」映画上映会
4日	
5月	
6火	
7水	◆ 9:00 広報委員会
8木	○ 本紙 2024年3・4月号 (No.196) 原稿投稿期限
9金	● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
10土	◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
11日	建国記念の日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
12月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
13火	★ 9:30 池辺公園保全活動
14水	
15木	◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
16金	
17土	
18日	
19月	
20火	
21水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
22木	
23金	天皇誕生日
24土	★ 9:30 第22回かわごえ環境フォーラム
25日	
26月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
27火	
28水	★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会
29木	

インターネットアクセス (QRコード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



Instagram



YouTube



note

ボタニカルアート (5) ヤマシャクヤク (ボタン科)



ヤマシャクヤクは、関東以西の本州・四国・九州から朝鮮半島へと分布する、山地の林床に生えるボタン科の多年草です。日本にはもう一種、花が淡紅色のベニバナシャクヤクもあります。4～6月に茎の先に1個花をつけます。花が終わるとめしべは袋果となり、成熟すると開裂して美しい赤色の種子が現れます。なじみの深い園芸種のシャクヤクは、中国

原産のパエオニア・ラクティフローラが薬用・観賞用に改良、選別され、古い時代に日本に渡ってきました。(岡治)

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

広報 かわごえ環境ネット
2024年1・2月号
No.195

発行日：2024年1月1日 (第2版) 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>